

# きくがわ高校生まちづくりスクール

## 第1回 実施報告書

令和5年6月27日  
菊川市市民協働センター

日時：令和5年6月17日 9:00～15:00

会場：市役所東館3階会議室

目標： 講師、サポーター、高校生が安心して、まちスクに参加できるようにお互いを知り合う  
まちづくりスクールで大切にすること

①やされる活動からやりたい活動へ

②PDCAサイクルを回そう（考える→やってみる→振り返る→再計画）

③Why（なぜ）→ How（どのように）→ What（なにを）の順番で考えよう

参加者：高校生4人

### 1. オリエンテーション

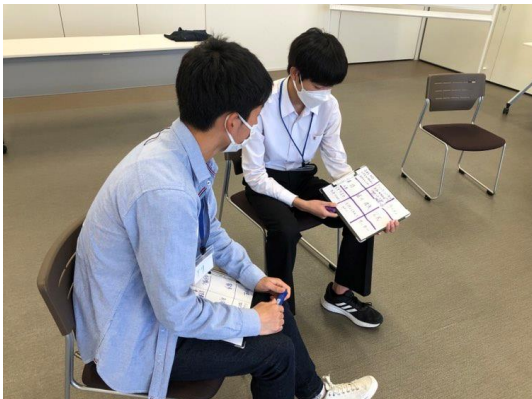
主催者挨拶（菊川市市民協働センターから）、講師自己紹介、本日の流れ

### 2. お互いを知り合おう

チェックイン（学校、学年、参加動機、今の気持ち）

### 3. 自分の興味関心を言葉にしてみよう！

曼荼羅自己紹介 参加メンバーは自分の名前や好きなこと、興味のあること、学びたいこと、課題を8つ挙げ、ペアで聞き合いをした。



#### 4. もしもあなたが市長になったら...?

参加者は市長マニフェストを考え、ロールプレイで市政方針を発表した。また、発表者以外は貴社役として、マニフェストについて市長に質問をした

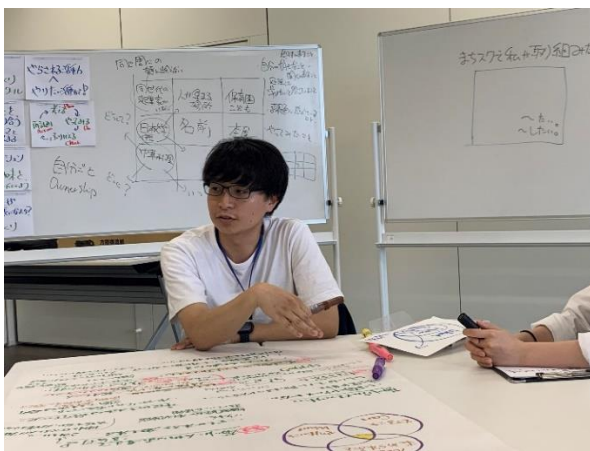
(講師からマニフェストの作成ポイント:私利私欲でOK、もしも、なので無理なアイデア大歓迎!)



#### 5. テーマ絞り/チームづくり

「なにを?じゃなくて、なんで?でチームをつくろう」ということをポイントに興味関心、自分の課題意識からテーマを絞った。チームはつくらずに、それぞれがマイプロジェクトとして取り組むことになった

6. 。



#### 7. 振り返り

参加者同士で、今日の講座の振り返りを共有した。

#### 8. クロージング

土肥潤也氏からのメッセージとして、思考の重要性やメタ思考のトレーニングの必要性について言及されました。

## 参加者アンケート

今日の講座を通してどのような学びや気づきがありましたか。

- ・ 自分の実行していることに人の意見を取り入れたり、主観的から客観的に見ることが大切。小さなことでいいからとりあえずやってみて反省してまた行動を起こすこと。
- ・ HOWの部分がかなり難しい。
- ・ まちづくりとは一言ではまとめられないことが分かりました。本当に色々なことがあり、皆が納得できるというバランスを保たなければいけないことが分かり、大変だなと思いました。自分のプロジェクトが現実的になってきてワクワクしています。
- ・ 自分の悩みを絡めて考えることができた。
- ・ 人に質問されることで、いろいろ気づくことがあった。
- ・ 具体性を持たせることの難しさ

次回に向けて、疑問に思っていることや質問、講座への要望があれば教えてください。

- ・ 学校の協力オッケーですか？
- ・ とくになし。
- ・ 色々なボランティアを受けてみたいです。
- ・ なし
- ・ ゴールってどんな感じでしょうか？

市民協働センターに支援してほしいことなど、希望があればご記入ください。

- ・ 虹の架け橋
- ・ アンケートをとること。
- ・ おすすめのボランティアを教えてください。
- ・ なし
- ・ カバーお願いします

# きくがわ高校生まちづくりスクール

## 第2回 実施報告書

令和5年6月22日  
菊川市市民協働センター

日時：令和5年6月17日 13:30～16:30

会場：市役所東館3階会議室

目標： ①まちづくりの目標について考えよう  
②企画書を作ろう

まちづくりスクールで大切にすること

①やされる活動からやりたい活動へ

②PDCAサイクルを回そう（考える→やってみる→振り返る→再計画）

③Why（なぜ）→ How（どのように）→ What（なにを）の順番で考えよう

参加者：高校生5人、サポーター2人

### 1. オリエンテーション

前回の振り返り、ゴールの共有

### 2. 自己紹介

名前、学校、出身地、小学生の頃に見たアニメ



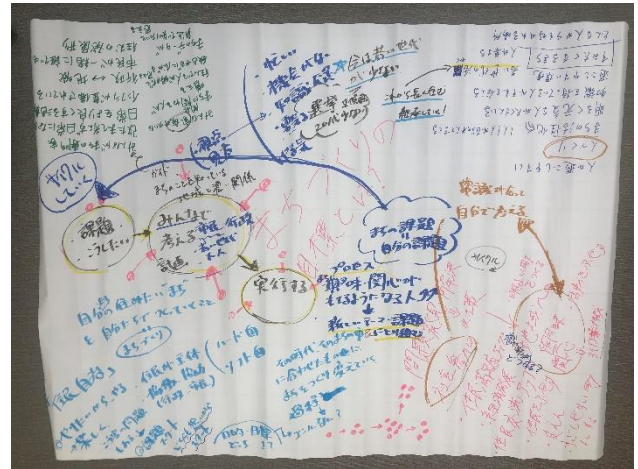
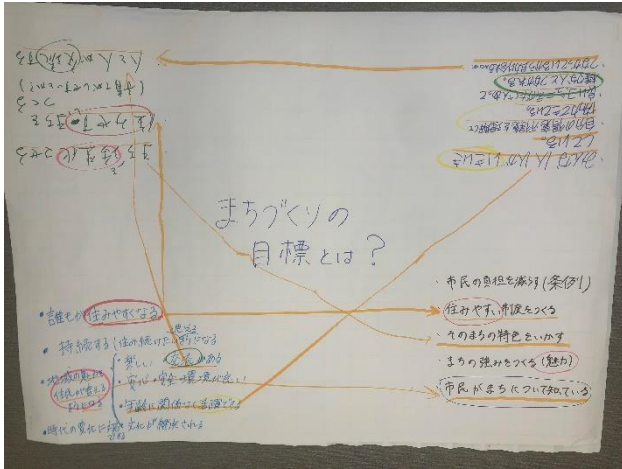
### 3. イノベーションゲーム

チームで話し合い、アイデアをだすことと、イノベーションをブレイクスルーを体感していくことを学んだ。



#### 4. ワークショップ「まちづくりの目標とは？」

2つのグループに分かれて、「まちづくりの目標」について話し合った



#### 5. 事例紹介 (フラッシュモブ in 静岡、焼津商店街みんなのアソビバ、焼津民営図書館さんかく)

目的を達成するには直線的なアプローチをしないことが重要。事例を多く知ることが重要で、その手伝いを協働センターやサポーターがします。また公益的に活動することで協力者も増やせていきます。



#### 6. なぜ企画書をつくるのか?

参加者の高校生からなぜ必要かを出してもらう

- ・方向性を明らかにする
- ・まわりのひとに知ってもらう、伝える
- ・見直し、修正できる
- ・企画をするうえでなにを基盤として派生させていくのか
- ・最後までやれるか確認できる
- ・最後までやり切れるか確認できる
- ・自分のなかで整理できる
- ・スムーズに計画を進められるようになる

土肥さん：企画書は見せるためのもののようなのだが、自分のために企画書が必要なのがわかる

## 7. 企画書づくり

参加者は個人、またはサポーターのアドバイスを受けながら、企画書考えた。最後に全体に自分の企画を共有した。



## 8. 振り返り

参加者同士で、今日の講座の振り返りを共有した。

### 参加者アンケート

①今日の講座を通してどのような学びや気づきがありましたか。

- ・ 自分の実行していることに人の意見を取り入れたり、主観的から客観的に見ることが大切。小さなことでいいからとりあえずやってみて反省してまた行動を起こすこと。
- ・ HOWの部分がかなり難しい。
- ・ まちづくりとは一言ではまとめられないことが分かりました。本当に色々なことがあり、皆が納得できるというバランスを保たなければいけないことが分かり、大変だと思いました。自分のプロジェクトが現実的になってきてワクワクしています。
- ・ 自分の悩みを絡めて考えることができた。
- ・ 人に質問されることで、いろいろ気づくことがあった。

②次回に向けて、疑問に思っていることや質問、講座への要望があれば教えてください。

- ・ 学校の協力オッケーですか？
- ・ とくになし。
- ・ 色々なボランティアを受けてみたいです。
- ・ なし
- ・ ゴールってどんな感じでしょうか？

③市民協働センターに支援してほしいことなど、希望があればご記入ください。

- ・ 虹の架け橋
- ・ アンケートをとること。
- ・ おすすめのボランティアを教えてください。
- ・ なし
- ・ カバーお願いします...

# きくがわ高校生まちづくりスクール

## 第3回 実施報告書

令和5年8月22日  
菊川市市民協働センター

日時：令和5年8月19日（土） 9：00～12：00

会場：市役所東館3階会議室

主な内容：中間報告会

活動の進捗報告・最終報告会までの活動計画づくり

参加者：高校生4人、コメンテーター 地域支援課岡田係長、サポーター2人

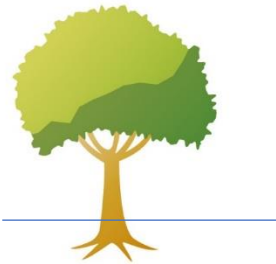
### 1) 発表の考え方について（講師より）

木の根の部分 ⇒今日は土台の部分を作る

根：何を目指しているのか、目的

枝・葉：手段は無数にある

○根っこの部分を高校生が考えられるよう、大人は問いかけしてほしい



枝葉 手段

木 土台に部分をつくる

根 何を目指しているか？

### 2) 中間報告会

発表者：小笠高校3年 山縣みさき

#### 1 活動のテーマ（活動した理由）

外国人の子どもたちに楽しく日本語を覚えてもらう

#### 2 インタビュー調査で行ってきたところ・取り組んだこと

- ・ 虹の架け橋教室で公立小学区へ入学直前の子どもたちを対象に日本語ピクショナリー（画像を用いた辞書）を使って日本語を教える授業を行わせてもらった。
- ・ 生徒たちの反応  
わかっていても自身がなくて言えない生徒が多い。
- ・ 感じたこと  
日本の学校へ行ってもコミュニケーションはとれない。  
周りが優しい態度をとることで自信がもてる。
- ・ インタビューしてわかったこと  
菊川市はサポート体制が強化されているが、県・市町によって外国人の子どもたちへの支援の手厚さに差がある。

#### 3 それを受けて発展したこと

子どもたちにどうすれば自信を持ってもらえるか考えたい。

#### 4 いま考えている活動のプロジェクト、アイデア

外国籍の生徒に対し、高校入試の対応（年齢・地域等の制限）が都道府県によって違うので、全国の入試制度を調べたい。

#### 5 質問・コメント

○岡田

実体験から伝わりやすく、インパクトがあった。

Q：虹の架け橋教室に入ったときの気持ちは？

A：小3で入国。自分はどういう状態で同級生からは変人として見られた。外国人への偏見、外国（フィリピン）の知識がないことが問題で、これからは、日本人に外国人のことをもっと教えたいと思う。

○落合

Q：何が一番課題と感じているか。

A：国よっての違いもあると思う。アメリカと日本と比較することもしていきたいが、今は自分の経験したことを学ぶための進学を考えている。

○豊島

・ 行政が解決策を考えるのは難しい。みさきさん自身が身近な課題から、考えれば企画が進みやすく、楽しくなってくるのではないかと思う。

○講師アドバイス

- ・ 自分自身が日本語教室などで成功している事例から学び、モデル化できる事業を自身で作るとよいと思う。ただ教育委員会に意見を言うだけでなく、その事業をモデルとして示し、他の地域からの視察を受け入れられるようになるといい。
- ・ 自分は20歳の時にNPOを設立した経験があり、今とは時代が変わっていることを感じる。まちスクを基盤にしながら、菊川市が県内で外国人率が1位であることを活かして、長期的な取り組みを続けるよう頑張ってください。

#### 【6W3H シート】

What	日本語を楽しく学ぼう
Why	外国人に、日本語を楽しく、効果的に教える
With Who	日本語分かる人
When	11月以降
Where	きくる
How far	大学生になってサークルをつくり活動を継続
Whom	外国人
How	日本語ゲーム
How much	なし

発表者：常葉大菊川高校 2年 有海秀翔

#### 1. 活動のテーマ（活動した理由）

人と人をつなげる空間づくり：周辺にはない、また接したことのないコミュニティと接点を作ることで、新たなコミュニティへの成長促進を目指す。

#### 2. インタビュー調査で行ってきたところ・取り組んだこと

みんなの図書館さんかくとコラボレーションスペース Takt を訪問



- ・ さんかく・・・地域の人の運営で自立している、温かい雰囲気のある場所
- ・ Takt・・・企業のサポートが強く、テレワークなどの仕事で利用する場で、コミュニケーションが取れる雰囲気ではなかった。

### 3. それを受けて発展したこと

高校生から地域の人までが関わりが持てる温かい場づくりがしたいことを再確認した。

### 4. いま考えている活動のプロジェクト、アイデア

15歳以上を対象に、ボードゲームとカフェで交流する。

### 5. 質問・コメント

○落合

Q：常連同士の出会い、安心の場にするのか、新しい人の出会いの場なのか。

A：⇒常連は考えていない

○岡田

- ・ 家族以外のコミュニケーションの安心できる居場所が必要な人はいると思う。
- ・ きくるになぜ人が集まって来るのかなどを調べ、参考にするとよいと思う。
- ・ 営業の許可などが必要な部分は、頼める人がいればお願いすればよい。

Q：ゲームはどのようなゲームを想定しているか。

A：ボードゲームを想定している。

○豊島

- ・ なぜやりたいのか？自身の困ったことを未来に向けて解決することを企画したらよいと思う。
- ・ 露天商の資格を持っているので、手伝うこともできる。

○講師（土肥）

- ・ 空間、飾りつけなど空間もこだわった Café にしてほしい。
- ・ ゲームなどがあると驚く人もいると思うので、自然に形でやったらどうか。
- ・ 1回小さくやってみて、改善して2回目をやるとよいと思う。

### 【6W3H シート】

What	3C connect community café
Why	人と人を繋げる空間作り・今までにない出会い 来るだけで心温まる、安心感のある雰囲気
With Who	食品衛生とかの問題解決、経営の経験がある人 雰囲気作りできる人、友達4人くらい
When	10月20日（金）or 21日（土）12:00～18:00
Where	きくる2階
How far	高校生から地域の人まで関係なくかかわりが持てる 1辺当たり最低一人と知らなかった人と関わった状態 初回の開店で20人以上
Whom	15才～（15才未満は保護者ありなら入店可）
How	カウンターで飲食の提供 入店時、トークデッキを配布（トークデッキの数で割引）
How much	料金目安200円～1400円 予約制+その場で来た人

発表者：小笠高校 3年 田中 心結

### 1. 活動のテーマ（活動した理由）

簿記の勉強会：様々な年代の人々が交流できる場所をつくりたい。一人での勉強は難しいので、教え合いで効率よく学習できる。

### 2. インタビュー調査で行ってきたところ・取り組んだこと

高校の先生にアドバイスをもらった。簿記の勉強会を実際にやっているところがあることがわかった。

### 3. それを受けて発展したこと

反省をしっかりとし、プロセスを大事にする。

### 4. いま考えている活動のプロジェクト、アイデア

対象は簿記を始めたい人、始めたばかりの人を対象に10人程度を考えている。

資格を持っている人や過去に勉強していた（知識のある）人などに手伝ってもらいたい

### 5. 質問・コメント

#### ○豊島

Q：ターゲットはどのように考えているか

A：簿記は学校では一方的に教えられるだけで簿記を学習したい学生。主婦、以前やっていたけどまた勉強したい。授業についていけない人など、きくるで10人くらいを考えている。

#### ○落合

- ・ 専門性のある勉強会の場が少ないので、そういった学習をするコミュニティもよいと思う。
- ・ 内容として、簿記の概要を話し、互いに教え合う勉強会になるといいと思う。

#### ○岡田

- ・ レベルの違う人たちが参加できる何かが欲しいと思う。サポートする人も必要。簿記の勉強会と交流が繋がらない⇒一人では難しい。教える側に回りたい人もいると思う。

#### ○講師（土肥）

- ・ 簿記勉強会のネーミングを変えたらどうか。大学生向けのプログラム
- ・ や、高校生の時から勉強したい、会計に興味がないけど数字を知りたいなど、対象をはっきりさせるとよいと思う。

#### 【6W3H シート】

What	簿記の勉強会
Why	人を集める
With Who	資格を持っている人(杉山重人税理士)、知識がある人、友達
When	年内
Where	きくる
How far	みんな仲良く、効率よく教え合い
Whom	だれでも OK（主婦、高齢者、就活生） 10人くらい
How	自己紹介→簿記の概要説明→簡単な問題教え合い→感想→アンケート
How much	考え中 ホワイトボードで説明 プリントつくって配る←問題

発表者：掛川工業高校 2年 堀川煌矢

## 1. 活動のテーマ（活動した理由）

Book up!：自分自身、コミュニケーションをとることが苦手。幼い子どものころから絵を描くことが好きなので、自作の絵本を制作したい。

## 2. インタビュー調査で行ってきたところ・取り組んだこと

(ア) 本の内容を決めるため、子どもの頃に楽しかったことを高校生にインタビューした。

(イ) やなぎ文庫の三浦康子さんへのインタビューをして絵本を制作するための心得等を教えてもらった。絵本には社会課題をテーマになることも多い。兄弟に障がい者がいることを話すと、障害のある人が暮らしやすくなるために自分のお身を描く、そういう内容を絵本にするとよいとアドバイスもらった。

## 3. それを受けて発展したこと

今考えている活動のプロジェクト、アイデアを再考した。小さな子どもから障がいについて知ってほしい。障がい者に対する偏見をなくす などテーマが変わってきた。

## 4. コメント・質問

### ○岡田

- ・ 小さなころから絵本を通して成長に役立ててほしい。絵本の内容を変えることでアプローチの仕方が変わる。

### ○奏楽

- ・ ターゲット、ゴールを目指しているか？具体的に言えるとよいと思う。⇒浜松で障がい者支援に関わっているが、障がい者に関わったことのない人たちをターゲットにしてもいいかもしれない。

### ○宏恵

- ・ 自身で絵本を作ってすごい。偏見を無くすのなら、幼い頃から絵本を読み聞かせをするのはいいと思う。想いを書き出したら企画がよりブラッシュアップをさせてい。

### ○講師（土肥）

- ・ トリナスから出版したらよい。
- ・ 企画を練ってクラウドファンディング 300 冊。デザイナー

## 【6W3H シート】

What	Book up!
Why	読み聞かせを通して幼いころから対面によるコミュニケーションの楽しみを知る。 +障がい者への偏見をなくす
With Who	本位詳しい人、まちスクの方々
When	本作製 ～9月22日 読み聞かせ 9月23日
Where	てつがくカフェ きくる1階
How far	障がい者への偏見をなくす 〇〇までに障がい者と関わりのない人が障がいについて考えられる
Whom	障がいを知らない幼い子供達

How	自作の本を読み聞かせする 出来れば提供 読み終わった後に感想を聞く
How much	支出

### 3) 全体へのコメント

#### ○岡田

- ・ 自分たちがやりたいこと、何をゴールにするかで活動も変わっていくと思う。
- ・ そのゴールに向かっての手段を考えていくとよい。

#### ○落合

- ・ 自身の困っていることを具体的にしながら、自分やりたい気持ちを出していくとよいと思う。
- ・ 一番大事にしたいことから始めるとよい。

#### ○豊島

- ・ 楽しみながらやるとよい。
- ・ 何を目指しているか根っこの部分を大事にしていって欲しい。

#### ○講師（土肥）

- ・ 正しいと信じることで仲間を集め、楽しさを通じて社会を広げることが大切。
- ・ マザーハウスの山崎氏は発展途上国の物品を販売しているプロジェクトについて、強い情熱を持っている人々が関心を寄せる。参加してくれるために、カフェの看板の掛け方や実施方法が重要です。
- ・ プロジェクトの成功を頂上に達することとは捉えず、どれだけ高く登れるかを考えることも重要。また、報告会の後もプロジェクトをセンターが継続的にサポートしていくので、継続して行ってもらえるとよいと思う。
- ・ 小さなことでも行動に移すことが重要であり、実際に何かを始めることが大切。言葉だけではなく、行動を起こすことで周囲からの応援が得られる。
- ・ 言葉だけで何も行動しない人は人に相手にされない。行動することで他人の関心を引き、支持を得ることができまるので、積極的に行動を起こして欲しい。

# きくがわ高校生まちづくりスクール

## 第4回 実施報告書

令和5年9月19日  
菊川市市民協働センター

日時：令和5年9月1日 13:30~16:30

会場：市役所東館3階会議室

目標：①企画実施に向けての準備をしよう

②プレゼンテーションのコツを学ぼう

まちづくりスクールで大切にすること

① やらされる活動からやりたい活動へ

②PDCAサイクルを回そう（考える→やってみる→振り返る→再計画）

③Why（なぜ）→How（どのように）→What（なにを）の順番で考えよう

参加者：高校生4人、サポーター2人

### 1. オリエンテーション

前回の振り返り

### 2. チェックイン

名前、秋の楽しみ

### 3. 進捗共有

小笠高校 堀川朔太郎 テーマ：英語教育

英語教育の改善に取り組んでいます。日本の小学校においてはインプットが多く、英語を話す能力を育むための環境づくりをする必要があると思っています。豊橋市の公立小学校では、イマージョン教育を導入し、休み時間にも英語でコミュニケーションを図っています。まちづくりスクールでは、英語への最初のハードルを下げ、英語学習を小さい頃から始めるための方法を考えています。具体的なプログラムとしては12月の第1土曜日に小笠児童館で、小学生低学年を対象にゲームを使って英語に親しむイベント1時間半程度で開催する予定。大人は入らないで、高校生が主導して行います。

### 質問、コメント

Q どんな人に協力してもらってきたのか？

A 小笠の児童館の館長、虹の架け橋の職員に手伝ってもらった。虹の架け橋にはどのように授業をやったらいいのかを聞いた。虹の架け橋に行って、5人で1人を見るということを知ったので、児童館のイベントでは、3~4人で高校生がこどもたちを見る。

Q 仲間の高校生はどうやって見つける

A 知り合いに、英語を話せる高校生がいる

Q 英語に興味を持ったきっかけは？

Q 自分は全く英語ができない。高校1年生で塾に行ったが、インプットばかりだった。努力して勉強できる人はいいが、楽しいという感覚があれば、英語を学べるのかと思う。興味が湧いたものにはどんどん勉強していこうと思える

常葉大菊川高校 有海 秀翔 テーマ：コミュニティカフェ

「3C カフェ」は、カフェと料理が好きで多くの人と交流したいという思いから生まれたイベントです。通常の学校ではコミュニティが限定され、同じグループで固まりがちですが、このプロジェクトではそういった固

まったコミュニティではなく、様々な人たちと交流したいという考えから始まりました。コミュニティカフェとして開催され、日程やメニューは既に決まっています。また、お菓子屋「ニーム」の協力を得て、お菓子の提供もお願いしています。チラシも作成し、内容として、参加費は大人から集め、学生は無料にしようと思っています。このプロジェクトでは、異なる人々との交流とコミュニティの広げるということを一番の目的としています。

### 質問、コメント

Q 参加することでどういう気持ちになってほしいか？

A 新しい発見、世界が知れるといい

Q トークテーマが机の上にあるといいかも。

A トークデッキを配ろうと考えていた。見ながらしゃべってもらいたい感じ。

C 名札に興味や好きなことを書いておくと交流が生まれると思う

Q 参加費に 1000 円払ってくれる大人はどんな大人か？

A 目的が分かってくれる人

C 変な大人が集まってくれるかもしれないので、大人は完全招待制にする。50人くらいにすると来てくれる。参加費をとっても、大人も発見があれば、行くと思う

Q 大人と出会いたい高校生はどのくらいいるのか？

A 友達が結構、呼んでくれるという予定。カフェ好きな高校生をターゲットにする。

- オープンキャンパスなら高校生も来るが、大人もターゲットを絞ってみてもいいかも。そうすると、高校生も来やすいかも。

C 少し有名人や変わったキャリアを持っている人を10人くらい呼んでみるのはいいかも

A 大人がメインになってしまうのは違うかも高校生を先に集めて、それに合わせて大人を呼ぶという感じはいいと思う

### 小笠高校 田中心結 テーマ：簿記勉強会

様々な年代の人が交流できる場を作りたいと考えています。簿記は一人で学ぶのが難しいという認識から、学校で簿記の勉強をしている知識を活かしたいと思いました。具体的な活動は11月29日、12月6日、12月13日の18:30から20:00にきくらのミーティングスペースで行います。この活動では、簿記の教え合いを通して、様々な人と交流を深めることを目指しています。会計士の杉山さんをお願いして、テキストを読みながら活動を進めます。この活動は、主婦、大学生、シニア、子どもなど、幅広い年代の方々が対象です。具体的な活動内容は、自己紹介から始めて、テキストと一緒に読み、みんなで教え合うという形を取ります。活動を通じて、簿記の学びと交流が場をつくれます。

### 質問、コメント

C チラシに主催者の情報が入った方がいいと思う。高校生が企画する！

Q 簿記が必要だと思う場面があるが、素人でも大丈夫なのか？「初めての人」とあるが、完全な素人でも踏み込みやすいといい

C 講習会より、勉強会というタイトルはいい

C キャッチコピーをもう少しいじってもいいかも

C 曜日がチラシにあると分かりやすい

C 高校生が教えてくれると、高校生も参加しやすい

### 掛川工業高校 堀川煌矢 テーマ：book up 絵本づくり・読み聞かせ

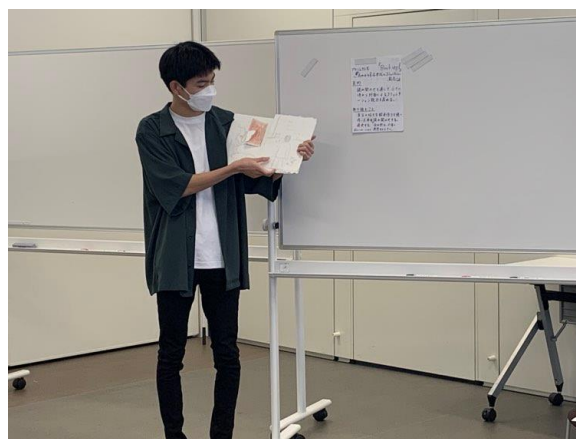
プロジェクトのテーマは絵本づくりと読み聞かせです。このプロジェクトの目的は、読み聞かせを通じて、小さ

い頃から対面コミュニケーションを高めることです。参加者は自分の好きな絵本を作り、読み終わった後に感想を共有することでコミュニケーションをとります。アンケートを通じて、小さい頃の思い出から子どもたちに興味あるテーマを本にしようと考えていました。やなぎ文庫の三浦さんとの対話を通じて、将来の目標として障がいを持った人が暮らしやすい社会をつくりたいという想いを絵本で表現することにしました。本番用の絵本作成が進行中で、9月23日に哲学カフェで読み聞かせを行う予定です。絵本が読み聞かせができるレベルにまで仕上がりに、今週中に完成予定です。また、絵本の日本語表現の一部が変えて、より意味が明確になるように工夫されています。最終的な目標は、身近な本を通じて、子どもたちが対面によるコミュニケーションを楽しむことです。

### 読み聞かせの感想

- ・ こどもは繰り返して読むので、気づき生まれる
- ・ 手に取って呼んでみたいと思った。
- ・ 感動する内容で、商品化してほしい
- ・ 少ない言葉で、伝えるのはとってもいいと思う
- ・ 猫好きの人や他の大人にも伝わると思う
- ・ ストーリーが考えられていてよかった
- ・ 自作のストーリーというのが伝わるといい
- ・ 素晴らしい絵本だと思う。遊び心
- ・ ビジュアル的にも印象に残った
- ・ 後ろの背景は赤よりもオレンジなどいいかなと思う
- ・ 読み聞かせの練習をすといいて思う

欲しかったのは、家族・愛情っていう言葉。出版したいなと思っていますがどうでしょう？クラウドファンディングをやってもいい



## プレゼンテーションのコツとは？

- ・ プレゼンの目的や対象を明確にし、共感を得るために努力する。
- ・ 市の人に活動内容を報告し、提案して政策を変えることを目指す。
- ・ 応援や協力を得るために、なぜその課題に興味を持ったのかを語る。
- ・ プレゼンテーションは単なる活動内容の説明ではなく、なぜその活動が重要なのかを強調する。
- ・ "WHY HOW WHAT"の要素を含め、プレゼンでなぜその活動を行うのかを明確に伝える。
- ・ グラフや数字を使って説得力を高め、見ている人に投げかける。
- ・ 話す順番を最初に示し、結論をしっかり伝える。
- ・ サブタイトルを使用して、説明の内容を分かりやすくする。
- ・ 話すテンポが聞きやすく、元気があると印象づける。
- ・ プレゼンの冒頭できっかけを語り、資料を詳しく説明する。
- ・ 共感を得て応援したいと思わせるプレゼンを心がけ、練習が重要である。



## 4. 参加者アンケート

①今日の講座を通してどのような学びや気づきがありましたか。

- ・ プレゼンは早口でも構成と声のトーンですんなり入ってくることがわかった。
- ・ 具体的な活動が決まっていなかった事
- ・ 直した方が良いところがわかって良かった。
- ・ 色々感想やアドバイスを頂き、読み聞かせなどのコツを掴むことなどの課題が見えてきました。

②最終報告会に向けて、不安に思っていることや質問、講座への要望があれば教えてください。

- ・ とくになし
- ・ プレゼンで詰まりそう、テストとプレゼンと企画を10月に両立できるかなという不安
- ・ 分かりやすい構成にできるか不安。
- ・ スライドはPowerPoint以外でも大丈夫なのか。

③市民協働センターに支援してほしいことなど、希望があればご記入ください。

- ・ とくになし
- ・ やる気だけは結構あるので、アドバイスなどのサポートよろしくお願いします
- ・ 特になし
- ・ 定期的に市民協働センターに顔出します。